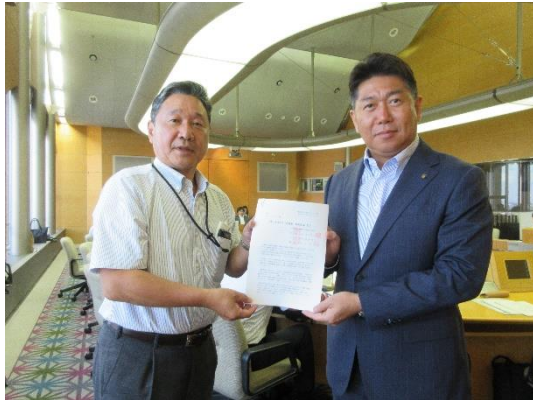


川崎市に対し「2024年度に向けた政策・制度要求と提言」を申し入れ！ 大規模災害対応や市内の課題対策などを要請

連合神奈川と川崎地域連合は、2023年8月21日(月)10時40分より川崎市第3庁舎において、「2024年度に向けた政策・制度要求と提言」の申し入れを行いました。自然災害対応や貧困対策、市内の様々な課題について連合神奈川は26件、川崎地域連合153件の申し入れをおこないました。



要請書を手交する渡部議長（左）と福田市長（右）

冒頭、連合神奈川 吉坂会長は「川崎市は、コロナから3年半たっているが、様々な対応をいただいていることに敬意を表したい。2024年度に向けた要請は『平和で安心して暮らせる社会の実現に向けた取り組み』や『自然災害の対応』、『若年層の政治にかかわる課題』、『貧困対応』などとなっている。働く者の意見を集約した政策・制度の要求と提言になっていることをご理解いただきたい」と挨拶しました。



次に川崎地域連合 渡部議長は、「2024年度に向けた要請内容は、4回の政策部会を開催し、組合員の思いやより働きやすく住みやすい街になることを願う内容となっている。川崎市に対してはこれまで同様ポテンシャルを最大限発揮していただきたい。また、市内で働く者として住みよい街づくりや発展に向けて出来る限りの協力をしたいと思っている」と挨拶しました。



挨拶をする渡部議長

福田市長からは、「働くみなさんの声を集めていただいたことに感謝申し上げる。来年は市制100年を迎える。100年の時だけではなく、持続可能な市制の実現に向けて努力していきたい。直近では雇用の人材不足や電力の高騰など課題は山積しているが、自治体としてやるべきことをしっかりやっていきたいと考えている」と挨拶されました。



挨拶をする福田市長